

回遊型体験演劇
Mobile Theatre

第一回公演

うた
天空の謡

大地の書簡

開催日時 2021年7月10日(土)・11日(日)

開催場所 静岡市登呂遺跡公園

受付開始 17時45分～ 静岡市立登呂博物館

事前説明 18時～

開演 18時30分頃 (当日の気象条件により遅れる場合があります。)

終演 19時10分頃 (開演時間によって変わります。)

入場料 1000円 (当日釣り銭のないようにお持ちください。)

事前登録が必要になります。(申し込み方法は裏面に記載)

参加制限 18歳以上。今回の公演は観客の皆様にも動いていただきます。

時間帯的にも暗く足元も悪いので、成人の方でもお一人での歩行が難しい方のご参加は、残念ですがご遠慮いただきます。

交通手段 付近に駐車場はありませんので、バス、レンタサイクル、自転車等でお越しください。

新型コロナウイルス感染症対策■参加希望の皆様には、事前にご氏名、ご住所、連絡先等の情報を登録していただきます。ご登録いただいた個人情報、個人情報保護法に基づき、公演主催者が保管いたします。また、万が一、ご来場者や公演関係者で感染者が発生したときに、保健所等公的機関へ提供することがございます。当日は会場で検温、手指の消毒をさせていただきます。37.5度以上のお熱のある方、体調がすぐれない方のご入場はご遠慮いただきます。必ずマスク着用をお願いします。

防虫対策■会場が夏の野外であるため、蚊などの虫に対する対策は各自をお願いします。
小雨決行■傘の使用はご遠慮いただきます。カッパなど雨具の用意は各自をお願いします。道もぬかるんでいる可能性がありますので、履き物にもご注意ください。

中止決定■市内で震度4以上の地震を観測した場合。
市内に気象警報(大雨、洪水、暴風、高潮)及び津波注意報以上が発表された場合。
その他、中止することが必要であると判断される事態が生じた場合。

※中止が決定した場合は、公演当日14時までにメール、電話でお知らせします。

各回先着
20
名様限定

「見えるものがこの世のすべてではなく
見えないものがすべてでもない
私たちはその中間に生かされている—

分かっているはずのことを見誤り
逸れていくこともある

だから私たちはこれまで
長きにわたり葛藤を続けてきた

はるかかなたの物語が問う
今、私たちは何を求めるべきなのか—

舞台は夕暮れ時の登呂遺跡
各回限定20名様に与えられる、とっておきの時空間
あなたは今までにない表現世界の目撃者になる

■公演内容

登呂遺跡の歴史、文化、土壌から伝わってくるスピリチュアルな波動から物語は紡ぎ出されています。

台詞や詩、音楽は事前に録音され、参加者に配られるイヤホンからミニFMの電波を通じて流れてきます。

役者は喋ることなく身体で世界観を表現します。観客は自由に動き回り、自分の好きな位置で物語に参加していきます。

これまで演劇と関わりの薄かった様々なジャンルのアーティストが集まり創作された本作品は、Mobile Theatre だからこそできる演出効果が随所に発揮されています。身体表現芸術の新たな可能性の追求です。是非ともこの歴史的瞬間にお立ち会いください。

★初演ということもあり、予測のつかないハプニングが生じる場合があるかも知れません。そんな時は、大きな気持ちで見守っていただければと思います。よろしくお祈りします。

内容等の詳細につきましては、こちらで更新してまいります。



まさに奇跡のような顔ぶれ。

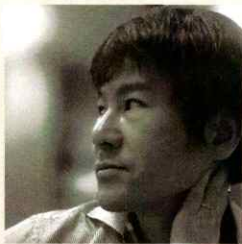
この作品は、様々なジャンルのアーティスト達の意欲と感性、観智によって生まれました。Mobile Theatre ならではの特性が随所に生かされた「天空の謡 大地の書簡」は身体表現芸術の新たな可能性を示唆するものです。

天空の謡 大地の書簡 参加アーティスト、スタッフ



01. 原作 / 花巻かおり

●小説家
静岡市在住。2008年「赤い傘」で第32回集英社すばる文学賞佳作を受賞。第59回はままつ劇・人形劇フェスティバルに散文「祭り、祭り、きみのための」を寄稿。芸術批評誌 DARADA MONDE 2号に小説「地蔵清掃」を寄稿するなど、これまで静岡県内の文化活動にも積極的に参加。2016年水見色の古民家で上演された演劇公演「ことぶかり」では自身の小説を原作として提供。以来、演劇や朗読劇等様々なアート作品に原作・原案として参加している。You Tubeにて「花巻かおり語り」（朗読：たきいみき）公開中。



02. 脚本・演出 / 望月夏哉

●脚本・演出家 / 俳優
静岡市出身。演劇グループ「静岡あくくとねと」代表。学生時代に演劇と出会い、1998年より演出家デボラ・アン・ディスノーのもと俳優としての本格的な訓練を開始。舞台・映像作品に出演しながら制作スタッフ、アシスタントとして数々の演劇ワークショップに関わる。その後脚本家島海三氏（故人）に師事し、文芸集団「鳳工房」のメンバーとしてシナリオ制作術を修得。2008年からは地元静岡で演劇活動を再開し、音楽家や文筆家とのコラボレーション、カフェや古民家での上演など既成の概念に囚われない作品づくりを展開している。依頼を受けての客演や脚本提供も多数。



03. 視地 (ミチ) / 宮城綾通加

●俳優
バレエ・器械体操・創作ダンスなどの経験積みながらSPACの人材育成事業に参加し、県内の大学に在学中の2016年、オマール・ポラス演出のSPAC「ロミオとジュリエット」のジュリエット役でプロとしてデビュー。以降、SPACの若手俳優としてSPAC作品に出演、国内外の舞台に立つ。主な出演作に、SPAC「ロミオとジュリエット」、「イナバとナバホの白鳥」、「グリム童話〜少女と悪魔と風車小屋〜」（宮城聡演出）、舞踊音楽劇「かぐや姫、豊峰に帰る」（大岡淳演出、大柴拓磨演出）など。その他、子ども向け演劇ワークショップの講師など精力的に活動の場を広げている。

©Photo by Yuichi Yamaguchi



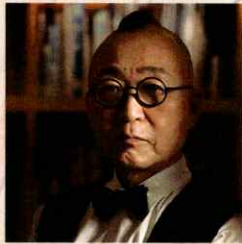
04. 語り / 鳥居初江

●自由人
高校時代は演劇部に所属。大学在学中より社会人劇団に所属。卒業後は持ち前の社会不適応能力を発揮して5回以上転職を繰り返しながらも静岡で演劇活動を続ける。無職時代に思い切ってスリランカへの一人旅を決行。帰国後は旅先で撮り溜めた写真の写真展を開催。その後もサークルを立ち上げて朗読イベントを企画したり。2019年にドラマワークショップリーダー養成講座の課程を修了。コロナ禍では役者業禁断症状を覚えながら台本やエッセイの執筆にうっかり手を出してしまい、気まぐれで応募した第一回徒然大賞支援者部門において優秀賞を受賞。



05. 語り / スナオマサカズ

●ナレーター
静岡県内を拠点に活動するラジオパーソナリティ、ナレーター。また実況者として、様々なスポーツのTV・ラジオ放送、イベントで実況も行っている。コマmercialやVPへの声の出演も多く、最近では朗読や自らのYoutubeチャンネルを始めなど新たな分野での活動も積極的に展開している。



06. 空子 (くうし) / 甲賀雅章

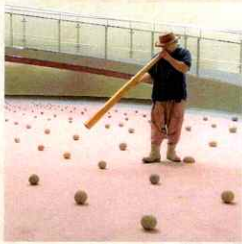
企画、統括指揮 (ディレクター)
●Creator
広義の意味でのデザイン、文化戦略を、21世紀型経営の最重要資源として位置づけ、企業、組合、商店街、地方自治体等の活性化におけるコンサルティング活動、ブランド開発事業を展開。CI戦略、ブランディング、コミュニケーションデザイン、シティブロモーション、新商品開発、新業態開発、空間プロデュース、イベントプロデュースと、その活動領域は広く、最近では、ダンサー、役者としても舞台に立っている。

©Photo by Hyogo Mugyuda



07. 音楽 / 伴 正人

●作曲家、指揮者
昭和音楽芸術学院、昭和音楽大学にて作曲と指揮を学ぶ。映画劇版、ミュージカル劇版、ゲーム音楽、テーマパークのBGM制作を主な活動としており、特にホラーへの音楽制作を得意としている。横浜市テアトルフォンテのミュージカル制作において劇伴作曲と音楽監督。栃木県壬生町おもちゃ博物館の館内BGM、おもちゃ博物館オリジナルキャラクターの壬雷ちゃんのテーマ曲を作曲、作詞。第9回日本作曲家コンクール、第12回日本作曲家コンクールにて入賞。第2回K作曲譜面審査コンクールにて第3位受賞など受賞歴多数。



08. 美術、演奏 / 白砂 勝敏

●美術家 演奏家
静岡県出身。農業高校造園科卒業後、造園業を経てその後美術家へ。美術は独学20代は1年の半分以上を放浪。放浪中は道端等で作品を売り糊口を凌ぐ。2008年モンミュゼ沼津（沼津市立美術館）にて初個展（館企画）その後2021年4月末まで美術館・ギャラリー等で企画個展37回 グループ展92回（ビエンナーレ等はグループ展に含む）パーカッション ディジュリドゥムピラ奏者でもあり、楽器も制作している。2015年The Neighborsフルアルバムリリース、2021年白砂勝敏ソロオリジナルアルバム「The story of water」リリース。



09. 衣装制作 / カルフォ香奈

●ファッションデザイナー
ロンドンのセントマーチンズ大学を卒業後、フセインチャラヤン、ヴィヴィアンウエストウッドにて経験を積み、独立して自身のブランド「kaNASHKA」をロンドンで始める。現在は、ファッションの教員をしながら、シャツをメインに展開している「SHIZEN DESIGN」の服を東京、大阪、静岡でウェアアップショップやイベントにて受注販売をベースに活動中。

10. メイクデザイン / 吾郷 義英 (あごう やすえ)

●メイクアップアーティスト
[特殊メイク、特殊造形、メイクアップ、フェイス & ボディペイント、着付け等] 成安造形大学卒業、在学中より特殊メイク会社にてアシスタントを務め、映画やCMの現場に携わる。2004年フリーランスとして独立。主に現代美術作家の写真や映像作品、舞台芸術の場で担当する。
主な参加作品
現代美術 やなぎみわ氏「My Grandmothers series」2004年～全作品。2009年ヴェネチア・ビエンナーレ「Windswept Women」、2019年「神話機械」等。演劇 あごうやすえ演出作品。2011年～全作品。利賀演劇人コンクール2012奨励賞「しあわせな日々」、「複製技術の演劇シリーズ」等。
ファッションショー 2018年関西コレクション、2019年京都コレクション花魁ショーにてヘアデザイン、メイク、衣装デザインを担当。

11. Makeup Staff

漆畑南美、齋藤暹輝、佐野月美、田澤久留未、山根佳奈 (デザイン専門学校プライダグル・ビューティ科)



12. 撮影 / 星野 裕司

●写真家
静岡市生まれ。大阪芸術大学写真学科卒業。情報堂プロダクツ入社、カメラマン百々新氏、レクチャー浦田淳氏に師事。退社後、星野裕司広告写真事務所設立。有限会社 星生代表取締役就任。商業写真を中心に、最近は映像撮影にも力を入れている。

13. ビジュアルデザイン / 前田 ミネオ

●グラフィックデザイナー、イラストレーター
1952年焼津市生まれ、有限会社アドック相談役アートディレクター、JAGDA 会員、静岡県広報デザインアドバイザー、静岡デザイン専門学校非常勤講師、静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター (CCC) プログラム

14. アンテナマン / 菅沼 新太

15. 村人 / 深野 裕士、伊藤 允彦



特別協力 / MiniFM システム構築 / 街声
大阪を中心に、89.2MHzを共通の周波数とするミニ FM ラジオの活動を展開。ひとりひとりが発信者になって人と繋がっている、そんな「普通の放送を聞くこと以上の価値」をラジオに持たせ、「楽しいからラジオを持ち歩く」環境を実現するため、日々システム開発やコンテンツ企画をしている市民活動ユニットです。

申し込み、問い合わせ ■下記までメールをお送りください。

参加希望者には申し込みフォームをお送りします。

各回定員 20 名になり次第締め切りとなります。

メール: mt@sd-lab.org Tel.080-3614-5157 担当 / 甲賀雅章

